

# 平成 26 年度事業報告及び収支決算報告

## I 平成 26 年度事業報告

林業の成長産業化を目指した国の政策が展開される中で、森林資源の充実と公益的機能の発揮を図りながら、循環的に森林を利用していくため、森林の現況、自然条件、地域のニーズ等を踏まえ、将来の望ましい森林の姿を目指し整備・保全を進めることの必要性が高まっています。これに対応するためには、森林技術の開発改良、森林技術者とくに現場技術者の育成がひつようであり、森林技術コンサルタントに対する期待は大きいものがあります。

このため、森林技術コンサルタント協議会は、産官学が協働してこれらの諸課題の解決に取り組むとともに、森林技術者の研修にも努めてきたところです。特に、公益社団法人森林保全管理技術研究所との連携による活動を活性化するとともに、運営委員会に設置した専門部会において、現場の技術課題の解明のために資料の収集分析を行い、関係官庁の技術担当部局との意見交換を行ったところです。

主な事業項目と内容は下記のとおりです。

### 1. 総会・理事会等

#### (1) 総会

##### 1) 通常総会

開催日	平成 26 年 5 月 28 日 (水)
開催場所	林友ビル 6 階中会議室
議題	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び収支決算報告
	第 2 号議案 平成 26 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案)
	第 3 号議案 役員交代
	第 4 号議案 その他

#### (2) 理事会

##### 1) 第 1 回理事会

開催日	平成 26 年 5 月 28 日 (水)
開催場所	林友ビル 6 階中会議室
議題	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び収支決算報告
	第 2 号議案 平成 26 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案)
	第 3 号議案 役員交代
	第 4 号議案 運営委員会委員交代
	第 5 号議案 その他

##### 2) 第 2 回理事会

開催日	平成 27 年 3 月 26 日 (木)
開催場所	日林協会館 4 階中会議室
議題	第 1 号議案 平成 27 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
	第 2 号議案 その他

### (3) 運営委員会の開催

#### ○ 第一回運営委員会

開催日 平成26年4月3日

開催場所 森林技術コンサルタント協議会会議室

議題 (1) 専門部会の運営について

(2) その他

※上記のほか、必要に応じて適宜開催。

## 2. 事業報告

### (1) 森林技術の調査研究を通じた技術開発・蓄積・普及・啓発の推進

#### 1) (一社) 森林保全・管理技術研究所との連携

一般社団法人森林保全・管理技術研究所と連携して

(1) 森林保全・管理技術に関する調査研究、技術開発

(2) 森林保全・管理技術に関する資料・文献の収集、整理保存及びその集積・分析

(3) 森林保全・管理技術に関する情報提供、普及啓発

等を推進した。

森林保全・管理技術研究開発事業については、「前期五カ年計画報告書」取りまとめるとともに、後期五カ年計画を作成しこれに基づき新たな研究課題等に着手したところである。後期五カ年計画の内容は次の通りである。

#### (i) 研究開発課題

①-1 治山施設の点検・補修等手法の開発

①-2 地すべり対策技術の現状と今後のあり方

② 高能率作業システムと森林基盤整備のあり方

③ 木材生産林における水土保全技術の確立

④ 里山における森林整備のあり方

⑤ 森林整備（治山、林道を含む）に関わる環境配慮の考え方

⑥ 森林調査等におけるレーザ計測（航空・地上）活用手法の開発

#### (ii) 森林保全・管理技術デジタル・アーカイブの作成

#### (iii) 森林保全・管理技術の普及啓発

#### 2) 専門部会の活動

専門部会の委員及び各地域の調査委員を選任し、会員に身近な技術課題について資料の収集分析を行い、関係官庁技術担当部局との意見交換を行ったところである。

### (2) 森林技術者の技術力の向上のための継続教育の推進

1) (一社)森林・自然環境技術者教育会及び(一社)森林保全・管理技術研究所が主催する森林分野CPD研修会を開催し、広報、資料作成、講師選任、参加者募集、会場準備、研修会運営などを行った。

- ① 森林技術者講習会(熊本)  
 日時：平成 26 年 7 月 4 日  
 場所：熊本市：ホテル熊本テルサ  
 講師・演題：山部義臣「森林土木工事等における品質確保対策について」  
 古賀忠直「森林と土砂災害について」  
 太田猛彦「森林の変遷とその機能の変化について」
- ② 森林技術者講習会(盛岡)  
 日時：平成 26 年 7 月 18 日  
 会場：盛岡市：盛岡観光文化センター  
 講師・演題：井良沢 道也「地域と共に創り上げる山地災害の減災を目指して」  
 織部 雄一郎「海岸防災林再生に向けた抵抗性クロマツ苗木生産の飛躍的向上」  
 島田 喜代司「仙台湾沿岸海岸防災林の復旧における生物多様性保全対策について」
- ③ 新たな森林施業に対応した水土保持技術手法研修会（東京）  
 日時：平成 26 年 11 月 7 日  
 会場：東京都：アルカディア市ヶ谷  
 講師・演題：北原 曜「土砂災害に強い森林づくり」  
 佐保 昇児「現地調査結果の概要（茨城県常陸太田市地内）」  
 田中 良明「数値地形情報を利用した路網選定プログラム」  
 鈴木 秀典「森林作業道からの土砂流出対策」
- ④ 森林技術者講習会（札幌）  
 日時：平成 27 年 11 月 7 日  
 会場：札幌市：ホテルポールスター札幌  
 講師・演題：田中 賢治「災害に強い森づくりのポイント」  
 村石 尚、澤田 梨沙「柔構造物工法と周辺環境との調和」  
 堂本 整「林道施設災害発生事例と復旧の考え方」
- ⑤ 次世代高能率作業システムと林内路網研修会（静岡）  
 日時：平成 27 年 2 月 6 日  
 会場：静岡市：JR 静岡駅ビル PARCHE7 階第 1 会議室  
 講師・演題：小林 洋司「路網と効率的な作業システム」  
 梅田 修史「地形・地質と路網体系」  
 仁多見俊夫「次世代機械化システムによる新林業」  
 鈴木 孝典「森林作業道からの土砂流出とその対策」  
 壁村 秀水「林業専用道作設技術」  
 鎌滝 晋「森林作業道の耐久性について」

## 2) 森林部門技術士第二次試験受験講習会開催

日 時 平成 27 年 3 月 13 日

会 場 日林協会館 5 階大会議室

受講者 45 名

講師・演題：

奥谷 由行：①技術士制度 ②業務経歴票の書き方

下山 晴平：①筆記試験問題の傾向と対策 ②技術士試験のための文章の書き方

本山 芳裕：森林政策・森林技術の動向

山田 清：私の受験対策

柴田 直明：私の受験対策

## 3) 森林技術基礎研修

日 時 平成 26 年 4 月 17 日（木）～18 日（金）

場 所 日林協会館 5 階大会議室

受講者 32 名 森林技術コンサルタント協議会会員の職員のうち、入社 5 年程度以内（または、森林技術コンサル業務経験 5 年程度以内）

講師・カリキュラム

大西 満信：治山技術基準の解説

奥谷 由行：林道規程の解説

鎌滝 晋：作業システムと路網計画

弘中 義夫：技術者倫理、継続教育等

小山 浩之：森林環境保全と森林土木

## 4) 測定事業講習会

日 時 平成 26 年 4 月 14 日（木）

場 所 群馬県前橋市千代田町二丁目5番1号

前橋テルサ 4 階 第 3 研修室 TEL 027-231-3211

受講者 31 名 内 17 名が会員

## (3) 森林技術コンサルタント事業に携わる業界の社会的使命に関する宣伝、啓発、指導及び助言

談合等の不法行為の排除や企業コンプライアンスの徹底により、適正な競争環境を維持する努力を続けるが、ダンピング受注に伴う成果品の品質低下が顕在化など、発注者や施工業者からの指摘を受け、「倫理綱領」及び「職業倫理行動規範」の徹底を図るなど、品質確保の取り組みを推進した。

## (4) 政府及び公共団体等に対する意見の具申及び提言

日 時 平成 26 年 10 月 17 日

陳情先 林野庁国有林野部長

陳情者 小林会長他運営委員

- 1) 総合評価落札方式対象事業の一層の拡大
- 2) 計画的な事業の発注総合評価落札方式における技術者のさらなる評価
- 3) 一般社団法人森林保全・管理技術研究所の活動についての理解

#### (5) 広報活動の推進

E-mail（同報メール）及び本会ホームページを活用して積極的な広報活動を行った。

#### (6) 緑化啓蒙活動等の推進

恒例の「水都おおさか森林の市 2014」に参加し、災害に対する森林技術コンサルタントの果たす重要な役割等について、広く市民にPRを行う。

日 時：平成 26 年 10 月 5 日（日）

場 所：毛馬桜乃宮公園

参加会社：国土防災技術株式会社大阪支店  
株式会社森林調査設計事務所関西支店  
株式会社森林テクニクス大阪支店  
明治コンサルタント株式会社大阪支店  
㈱大町測量  
株式会社森林コンサルタント  
アジア航測株式会社大阪支店  
（一社）森林計画センター近畿中国支部